



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA

スポンサー 大阪クラブ DBC 近江八幡クラブ 広島クラブ

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題・スローガン

- | | | |
|---------|---|------------------|
| 西宮クラブ会長 | 「いきいきクラブの継続」 | 濱崎 進一 |
| 六甲部部长 | 「一人は万人のために、万人は一人のために」
「YウイスYIMCAユースが、WウィンWウィンWウィンの
関係で互いに支え合おう」 | 小野 勅紘 |
| 西日本区理事 | 「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」
「楽しもうフェロウシップを、ポジティブに」 | 鵜丹谷 剛 |
| アジア会長 | 「大きなインパクトを起こそう」
「大胆に、信念をもって奉仕しよう」 | ジョウン・ウォン(香港) |
| 国際会長 | 「より良い世界のために、共に」
「立ち上がろう、そして輝こう」 | A・シャナヴァスカーン(インド) |

2025年
2月
922号
(78期8号)



2月 西日本区強調活動 TOF Time of Fast FF Family Fast

食事をいただける感謝を胸に TOF 献金をお願いいたします。

鳥居 翠 地域奉仕・環境事業主任(大阪なかのしま)

西宮ワイズメンズクラブ 2月第一例会

- 日時：2月14日(金) 19:00~20:15
場所：西宮 YMCA 3階会議室
ドライバー：山本 常雄メン 藤原 百合子メン
- 開会の挨拶 濱崎 会長
 - 今月の聖句 小野 メン
 - ゲスト・ビジター紹介 濱崎 会長
 - ゲストスピーチ 鈴木恵宜氏
「十一面観音を巡って」(元竹中工務店)
 - お誕生日のお祝い
 - ワイズニュース 濱崎 会長
 - YMCA ニュース 森川 担当主事
 - 閉会挨拶 濱崎 会長

HAPPY BIRTHDAY / FEBRUARY

- 3日 小野 勅紘メン
- 12日 阪根 紀子メネット
- 21日 山本 常雄メン
- 23日 西山 安子メネット

喜寿を祝う会 [阪根ワイズ プレゼンツ]

時間：20:30~21:30
場所：夢庵

今月の聖句

目をあげて、わたしは山々を仰ぐ
わたしの助けはどこから来るのか
わたしの助けは来る天地を造られた主から来る
どうか主があなたを助けて、足をよろけさせます
あなたを守る方は、まどろむこともない
詩編121章1節-3節
(小野 勅紘ワイズ選)

1月出席状況 (在籍会員数 20名)

第一例会 (12日)		第二例会 (24金)	
メン	17名	メン	12名
メネット	2名	メネット	0名
ゲスト	0名	ゲスト	0名
MU	0名	計	12名
合計	17名	出席率	85%

ファンド

	1月	累計
ニコニコ	¥14,400	¥24,400
BF	¥0	¥ 8,200

会長 濱崎 進一 直前会長 浅野 純一 副会長(次期会長) 副会長 足立 康幸
書記 浅野 純一, 山口 吉郎 会計 濱 浩一, 重村 仁 監事 阪根 新, 丸山 悦治 担当主事 森川 俊介
[六甲部] 部長 小野 勅紘 書記 濱 浩一 会計 山本 常雄

会長メッセージ

会長 濱崎 進一

小学校より地元校区の老人会へ子供時代の「昔遊び大会」数種の遊びへのお手伝い要請があり、老人クラブの有志のメンバーにてお手伝いをする事になりました。コロナ禍以前には「昔遊びの指導」要請があったようで、コロナ禍になって中止になっていたようです。遊びの文化を児童への継承していく為にも学校の授業の一環として体験しておくようです。



取り敢えず教えていく遊びは、羽根つき・竹とんぼ・こま・けん玉・おはじき・あやとり・お手玉・かるたの8種類を小学1年生の児童に伝授する。

事前に3日間・1講時実技練習のうえ、大会本チャン日には2講時にて3クラス児童と一部の父兄（お母さん方）と老人クラブの爺さん・婆さんとお遊びをいたしました。

実技を始める前に前記の8種類とは別に、凧揚げ・釘差し（5寸釘を地面にさす競技）・ピー玉・めんこ・竹馬と一部実物を見せて説明をしました。昔遊びを知らない・名前を知っているが実技は知らない子供がほとんどでした。私たちの小学生のころの遊びは、放課後近所のお友達（年長・年少）と一緒に遊ぶ経験・時間がありましたが、今は近所のお友達と遊ぶ時間・場所もない環境ですね。遊びの文化を少しでも継承していくには、学校にて教習していく時代になりました。

私たちが遊んだ遊びは、今の父兄も遊んだ経験も少なく。ましてやお孫さんたちも経験なく、遊びといえばゲームが主体になっています。時代とともに遊びがなくなると、何か寂しい気持ちです。以上、古いものを継承するむずかしさを経験いたしました。



1月第一例会(新年会)報告

ドライバー 浅野 純一 重村 仁

1月12(日)午後1時から3時まで、「えべっさん寒波」の名残のなか、阪急西宮北口の「ふじや本店」で新年会を行いました。昨年1月例会を新年会にとの意見があり、開催したところ多くの方々の参加がありました。とくに夜間外出して飲食をすることが困難に感じる方がおられ、とくにその方々に参加いただくことを優先してお昼の時間帯に会を設けました。今年も17名の方々に参加いただき、とくに西山メンには舞子からお越しいただき、1年ぶりにお会いできうれしく思いました。

濱崎会長の開会の挨拶に続き、阪根メンの今月の聖句、そして小野メンの食前の感謝で会食が始まりました。小野メンには教会の礼拝から駆けつけていただき有難うございます。各メンより近況報告あるいは新年の抱負を話していただきました。

4名の方のお誕生日(濱崎メン 廣瀬メン 濱メネット 重村メネット なお、石井メンは欠席されました)をお祝いしました。そして、濱崎会長の閉会の辞、そして記念撮影をして会を終えました。なかなか良い会であったとドライバーに声をかけていただき、有難く思いました。

出席者は敬称略で、浅野、足立、岩田、小野、阪根、重村、西山、濱、濱崎、廣瀬、廣瀬メネット、藤原、丸山、万本、山口、山本、宮地特別メネットの皆さんです。



YMCA ニュース

担当主事 森川 俊介

立春を迎え、暦の上では春が近づいていますが、冷たい風が身にしみる日が続いています。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。朝晩の冷え込みが厳しく、体調を崩しやすい時期でもありますので、どうぞ自愛ください。寒さが厳しいこの季節だからこそ、温かい交流や支え合いの大切さを感じる機会も多いのではないのでしょうか。私たちワイズメンズクラブも、地域のつながりを深めながら、心が温まるような活動を続けていきたいと思えます

<行事報告>

1. けん玉検定

育成センターでは、1月に入り、週2日けん玉検定を行っています。

用海育成センターでは1月7日よりけん玉検定がはじまりました。初日の7日は小学校の体育館をお借りして、全体でけん玉の持ち方や片づけ方、ジャンピングなど基本的なことを確認した後に、班ごとの検定を行いました。誰かと比べるのではなく、自分のできる技を一つ一つ、合格できるよう、日々の練習を大切に友だちと一緒に取り組んでいきます。週に2回の検定では、けん玉の技の向上だけを目指にするのではなく、取り組む姿勢、友だちとの関係などいろいろな視点をもって支援員も子どもたちと一緒に取り組んでいきたいと思えます。



2. YYYフォーラム

2024年度神戸YMCA第2回YYYフォーラム「あれから30年。「みつかる。つながる。よくなっていく。」社会を目指して」が1月18日に行われました。

ワイズメンズクラブ・常議員・職員・ユース・一般の方・石巻から駆けつけてくださった方など、44



名の方々にご参加いただき、来るかもしれない「その時」に YMCA を通して私たちにできること、私たちにとって大切なものは何かを、ともに考え、分かち合いました。ワークを通して、社会のなかで声が小さくされている方の視点から考え、想像を膨らませることができ、意義のあるものとなりました。

ワイズではいつも一人、あゝ草地さん、近江岸さんならどうしますか？

六甲部部長 小野 勅紘

ワイズに入った頃、約20年ほど前になるが、「ワイズでは役職を頼まれたら決して断ってはなら



ない。むしろ喜んでその役割を全うすべし」と言われた。いくつか任された任務を十分に果たせたとはいえないが、何とか熟してきた。敢えて、お役目に甘んじてきたとも言えようか。

60周年の最初の会長の次はメネット事業主查のお役目が廻ってきた。私にはメネットはいないし、事業の中で EMC 事業は花形で、やるなら EMC 事業をやってみたかった。躊躇していたら EMC 事業は長井慎吾会長が次のお役目でした。そこで、長井ワイズに率直に EMC 事業をやりたいと告げました。長井ワイズからは「どうぞ、どうぞ頑張ってください」と逆に励まされて2013-14年度の EMC 事業主查のお役目を担当することになった。メネット事業主查のお役目は濱メネットが担って下さった。

1年前に色々と準備のために事前の活動に掛かることにした。内容はこれまでの会員の動き、特に私は入会よりも退会に注目した。ロースターから調べると六甲部では過去10年間の退会者が181人に上がったことが判明した。1年間かけてその聞き取り調査をしていたところ、六甲部のあるベテランのメンバーからクレームが出た。「部には「次期」の主査制度がないのだから、次期の活動をしたら、現主査に失礼だよ」と言われた。しかし、主題やテーマを決めるにも過去から現在までの問題点が把握できないと設定できないのです。今迄の主査は事前の活動

なしに充てずっぽうや勘で設定していたのかと疑問に思った。

とはいうものの、目標もテーマも作れないので、無視して8クラブの長老やベテランから聞き取り調査をしていった。そうすると退会理由の一番目は「死亡」（18%）であることが判った。二番目は「諍いとか、もめごと」（14%）であった。三番目は転勤や転居。

予想していた「震災の影響」や「経済的な理由」や「宗教的な拘り」は殆どなかった。あっても秘匿されているのだろう。そこで次年度の目標が決まってきた。如何にして退会者を減らすか。「死亡」に対しては「死ぬな」とは言えないので、高齢化が原因で、「若返り」や「健康管理」が対策になる。

「諍いやもめごと」に対しては、「人の話の聞き方」や「楽しい例会」などが対策になった。このような調査をしていたら、鈴木誠也元理事が当時の次期理事の遠藤ワイズに紹介して下さい、EMC事業主任に繋がった。このようにやりたかった EMC 事業に没頭するようになった。

しかし、このように得意であったり好きでやっているお役目ばかりではない。嫌な役回りもあるし、得意でもない役割もある。しかし、ワイズではそれを嫌な顔しないで務めなければならない。ところが昨今高齢化や健康上の理由からお願いされてもお役目を果たせないし、中には「会長をやれといわれたら退会する」という方も目だってきた。高齢化すれば健康上の問題もあり、無理じいが出来ない。つらい世の中になったものだ。中には老体に鞭打って、あるいは持病を抱えながらもお努めされて力尽きて倒れる方もおられるとか、痛ましい思いもある。ワイズに命を懸けてきたといえれば凄絶な人生でもあるようだ。

さて、私は今期栄えある六甲部部長を拝命している。在勤時であればこの上ない役職であるが、芦屋クラブの島田ワイズが以前におっしゃっていた「ワイズでは会長よりも、部長の方が偉いとは初めて知った」とか。

そんな部長職であるが、クラブの EMC 調査によれば私は半期で例会を含めて、お役目上で約40回以上のイベントに参加してきている。名古屋から九州までの部会には全て参加してきた。（西中国部部

会は台風の影響で3月に延期)、先日YYYフォーラムが終わった後、宝塚クラブの多胡ワイズから「西宮クラブはいつも小野さん一人やね。他の人はどうしてるの?」と言われて「ハッ」とした経験がある。「クラブの皆冷たいのですよ。参加を促しても例会以外に出てくれないのですよ」と。実に寂しい思いである。クラブ全体が協力し合っている宝塚クラブや、神戸ポートクラブがうらやましいとさえ思われます。この違いは何だろうか。課題山積でクラブ存続の危機にある神戸学園都市からも支援を頼まれている。

私はワイズに入った時に如何にして友人を沢山作るかがテーマでした。特定の会社人間であった私には、独り身の身軽さもあるが、多くの違いを持った方々との交流は大きな魅力であり人生を豊かにしてくれると思われま

す。そして多くの部会や西日本区大会には積極的に参加してきた。国際大会やアジア大会には2006年の釜山以来コロナの始まる以前の2019年の仙台まで14回連続で参加してきた。そのせいか名古屋から九州までの多くのクラブに沢山友人が出来た。東日本区では岩手盛岡の井上さんや、東京江東の元国際会長の藤井さん(夫人が会社の元常務のお嬢さんであったことは後で判った)、名古屋の相馬さん、熊本ジェーンズの上村さん他と多くの友人が出来た。トライアングルDBCの広島や近江八幡もその中に入る。それにはまず人の話を聴くことから学んだ成果かもしれない。これからもこの姿勢は変わることはないだろう。

多くの交流や奉仕活動の中で、思い出すのは元神戸YMCAの元主事で、PHDの理事長や、姫路工大の教授も務められて志半ばで倒れた草地賢一さんや、余島キャンプに人生の大半を捧げられた元西宮保育園園長の近江岸建助さんの言葉である。

草地賢一さんや近江岸建助さんの言葉はオリジナルではないでしょうが、草地さんの言葉は10年ほど前に近江八幡クラブの浅岡ワイズが理事の時の西日本区大会で、富山YMCA出身で、当時同盟総主事であった島田茂さんが紹介された。

草地さんの言葉はそれは「言われてもやらない。言われなくてもやる」という言葉。これはボランティア精神の神髄を言い充てた言葉であると思われま

す。また近江岸さんの言葉は「キャンプファイアの薪になれ」という言葉。薪は自身は犠牲になって燃え尽きてなくなってしまうけれど、周りを明るく照らしてくれる。これは元東神戸教会の川上盾牧師が余島での六甲部部会で紹介された。

一人でも役割を果たす人がいて、回りにそれを支援する人がいれば薪は大きく燃えていくのである。一人でも始める人がいれば、周りを巻き込んで明るくして、ボランティアの群れが増えていくことが、ワイズの目指すところではないでしょうか。私を一人にしないで、一緒に参加しお互いに燃えていきたいものですね。ねえ、草地さん!ねえ、近江岸さん!ねえ、皆さん!

ワイズニュース [今後の予定]

2月14日(金) 2月第一例会 / 喜寿を祝う会

2月22日(土) 14:00~ 蘇州園(阪急御影)

神戸クラブ 井出浩ワイズ エルマークロウ賞受賞祝賀会/創立95周年記念例会 (会費1万円)

2月28日(金) 19:00~ 第二例会

3月1日(土) 12:30~18:30 Hクライトン新大阪次期会長・主査研修会

3月15日(土) 第2回六甲部評議会

3月17日(月) 18:00~ 総主事懇談会

3月22日(土) 西中国部部会



クロッカス 紫

編集後記

ブリテン委員長 山口 吉郎

★けん玉の話題が会長と担当主事から。暮れの紅白の影響かな?★小野部長が思いを投稿されました★みなさまもどんどん投稿をお願いします。行事報告に限らず趣味・紀行・写真・絵画 etc どんなものでも結構です★立春過ぎてから急に寒くなっています。体調にお気を付けください★